

大空に翔る

平成12年3月発行
No.16

発行

(財)山形県体育協会

山形県スポーツ少年団

山形市松山2-11-30

☎(023)625-5750

印刷 (株)大風印刷



庄内支部 「第26回日独スポ少同時交流受入」 歓迎式



第21回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会
平成11年8月7日(土)～8日(日)熊本県小国町林間広場
小松ホッケースポーツ少年団女子第4位



中山ミニバスケットボールスポ少 練習風景



鮭川村スポレクフェスタ スポ少対抗長縄とび

世の中、どのようになりましても、スポーツ少年団の掲げる理念は変わりません。益々意義あるものとなるでしょう。地域に期待されるスポーツ少年団、そして、期待される人づくりの為に、より一層の充実、発展を期し頑張る所存です。関係者の皆様の、更なるご協力をお願い申し上げます。

「大空に翔る」の第十六号が出来ましたのでお届けいたします。日頃の活動に資していただければ幸いです。
ご承知のように、今、社会情勢は急激な変化を見せております。その流れに対応する為には、スポーツ少年団でも大胆な変革が必要になってきました。県本部といたしましたも、県教育委員会の指導ご助言を頂きながら、各種の専門委員会や、関係諸団体との話し合いを重ね、そして検討し、間もなく迎える新世紀に「生きる」子供達の為の計画を策定しているところであります。



あいさつ

本部長

原田

薫

特集

21世紀のスポーツシーンが変わる

— 共に考えよう 総合型地域スポーツクラブ —



山形県スポーツ少年団・本部員 村田久忠

はじめに

近年、「総合型スポーツクラブ」という言葉が使われるようになりました。スポーツ少年団の機関誌「スポーツジャスト」にも毎回取り上げられています。

「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブは何かが違うのだろうか」「自分のところでも作れるのだろうか」など様々な質問を受けます。

スポーツ振興だけでなく、地域の住民意識の高揚や世代間の交流、高齢社会への対応、住民の健康・体力維持、地域の教育力の回復など、二十一世紀に向けた新しい地域社会の形成にも有効な方策として考えられています。

「総合型地域スポーツクラブ」について一緒に考えてみましょう。

今、どうして総合型地域スポーツクラブなのか

現在、我が国では、少子化や急激に進展している高齢化、また生活環境の利便化に伴い身体運動の不足、コミュニケーション感情の希薄化などが指摘されており、二十一世紀においても活力ある社会を維持

していくためには、国民だれもが主体的に、継続的にスポーツに親しめる環境づくりが急務とされ、「総合型地域スポーツクラブ」はこ

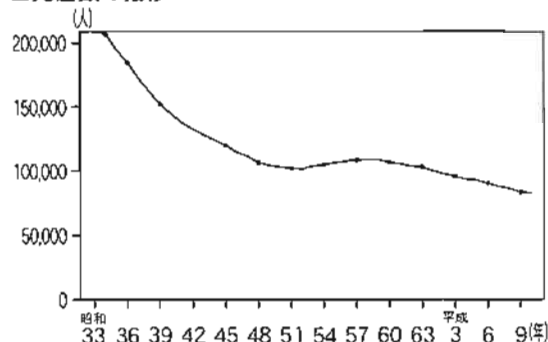
うした時代の要請に応えるものであり、生涯スポーツ社会を実現する上で極めて大きな役割を担うものです。

このため、国（文部省）や日本体育協会では、総合型地域スポーツクラブの育成をモデル的に市町村を指定して事業推進にあたっています。

総合型地域スポーツクラブをつくるにはどうしたらいいか

総合型地域スポーツクラブの創立は、①既存の各種スポーツクラ

■児童数の推移



ブの集合体、②スポーツ少年団をコアにして、③体育協会や競技団体の呼びかけ、④体育指導委員等のスポーツ指導者の呼びかけ、⑤PTA等地区の社会教育団体を母体にして等、様々な形態が考えられます。

いずれにしても総合型地域スポーツクラブは、地域住民が自主的に、自発的意思に基づき設立し、運営するものです。まず、地域のいろいろな立場の人が、スポーツを通じてた町づくりの夢を語り合いまししょう。

総合型地域スポーツクラブのメリットは何か

我が国の既存のスポーツクラブは、ほとんどが単一種目のスポーツクラブであり、会員が固定的、ゲーム中心、拠点施設がないなどの特徴があるといわれています。

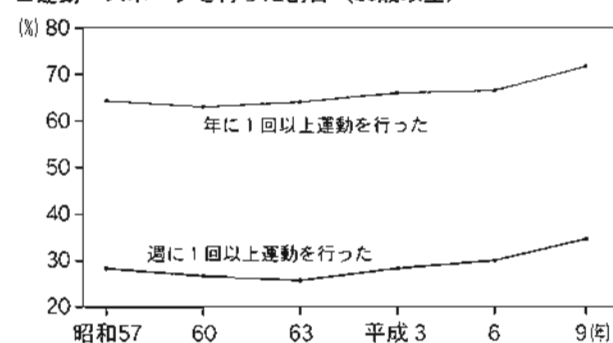
総合型地域スポーツクラブは、①地域住民が自主的に運営、②拠点となる施設を持つている、③複数のスポーツ活動を実施、④有資格のスポーツ指導者が配置されている、⑤青少年から高齢者に至るまで幅広い年齢層が参加、⑥地域住民の交流の場がある、等の特徴を持っています。このため、地域住民の健康・体力増進に資するだ

けでなく、スポーツの潜在人口の掘り起こし、豊かなコミュニケーションなどに寄与します。

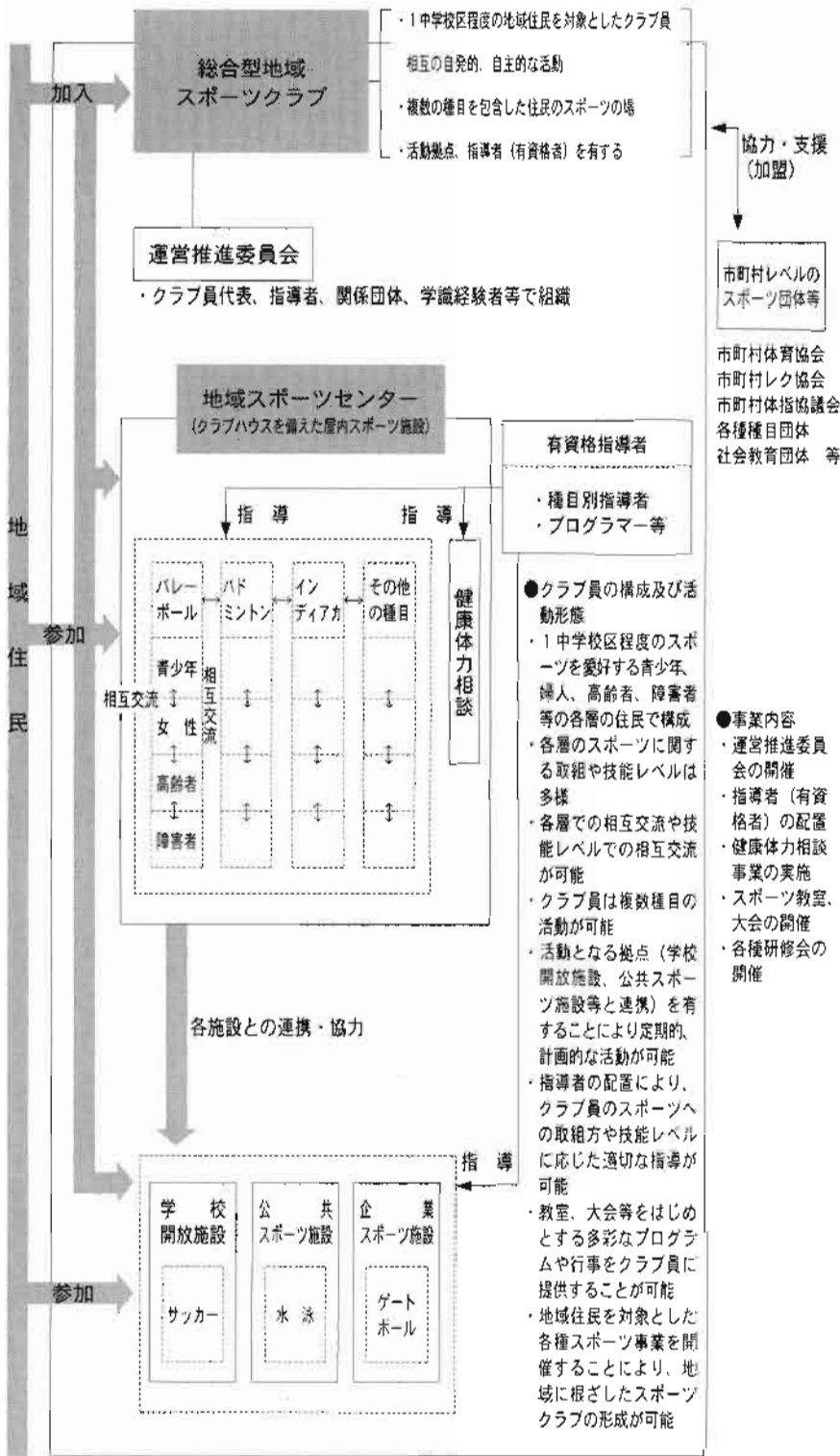
総合型地域スポーツクラブの運営経費はどのように調達するのか

総合型地域スポーツクラブは、地域住民により自主的に運営されるものです。ですから、その運営経費も基本的に会員の会費で賄うこととなります。したがって適切に事業を行なっていくためには、ある程度の会員規模が必要であると同時に、事業収入・寄付金収入など多様な確保を図っていくことが必要です。

■運動・スポーツを行った割合（20歳以上）



■総合型地域スポーツクラブモデル図



既存のスポーツ団体との関係はどのようになるか
えればよいか

既存のスポーツ団体には、有資格の指導者が登録されています。

また、同時にスポーツ行事等に関するノウハウを持っています。クラブの運営を適切に行なっていくためにスポーツ団体のこうしたノウハウを地域の有用な資源として

活用すべきです。日頃から連携・協力体制を十分とっておきましょう。

全国的な取り組みはどのようになっているか

文部省は平成七年度から「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を全国で三十四市町村を指定しており、(財)日本体育協会でも平成九年度からスポーツ少年団を核とした「総合型地域スポーツ

クラブ育成事業」を全国で十六市町村で実施しております。

大切なことは、モデル指定が終わった市町村でも、やっと地域住民にそのイメージがつかめてきた段階であると思われる、三年間のモデル指定事業は、総合型地域スポーツクラブの基盤づくりであり、完成されたクラブにするためには、十〜二十年の長期的なビジョンの中で進めなければなりません。

運動部活動との関係はどのようになるのか

総合型地域スポーツクラブに中学生の活動する場をつくることもできます。総合型地域スポーツクラブから学校の運動部活動への指導者の提供など総合型地域スポーツクラブと運動部活動が連携・協力を行なうことなどにより、より多くの子どもたちへ多様なスポーツ

環境を提供することが可能となります。

おわりに

現在、部活動への加入率が中学校で七〇%、高校生で二〇〜三〇%と言われております。生涯スポーツ社会をつくるためには若いうちからスポーツに親しむことが大切です。

平成九年度に総理府が調査した体力・スポーツに関する世論調査によると週一回以上スポーツをする人は二十歳以上で三五%という数字がでています。日本は経済大国にはなりませんが、スポーツの実施率はヨーロッパやアメリカにははるかに及びません。

住民の生活の中にスポーツが定着し、継続したスポーツ活動がなされ、一人一人の健康・体力が維持され、スポーツ振興だけでなく二十一世紀に向けた新しい地域社会づくりに寄与する、そのための環境整備に有力な方策が「総合型地域スポーツクラブ」ではないかと考えます。

さあ、あなたの町でも総合型地域スポーツクラブに取り組んでみませんか。

友好交流

■日独同時交流受入

(庄内支部 8/4~9)

平成十二年八月、記録的な猛暑の中、遊佐・平田の両町において、ドイツ少年団の受け入れが行われた。団員たちは、ホームステイや各種体験事業により、日本の文化や庄内の自然をめぐり、堪能していったようだ。

今回、両町を訪れたのは、バイエルン州エルランゲン市に、本拠をおく、バイエルン水泳少年団の一行九名。

連日の真夏の日のもと、長期間にわたるスケジュールをこなしてきたとあって、遊佐町に降り立った団員達は、幾分衰弱気味であったが、それでもしつかりした足取りで、出迎えの式典に臨んだ。式典



では、県本部長及び、遊佐・平田両町長より挨拶。小野寺喜一郎遊佐町長が、ドイツ語で歓迎の意を表すと、団

員からは盛んな拍手がわき起こっていた。

この後、団員達は、八月八日までの日程で、登山やカヌー、茶道・剣道などの体験事業を行い、ハー

ドながら充実した山形での数日間を過ごした。このうち、八月五日の鳥海登山では、滞在初日に関わらず、五合目から火口湖の見える

御浜までの標高差一千mをハイク出来た。途中強い日射のため、休憩を余儀なくされた団員もいたが、

鳥海湖についたときには、それまでの暑気をうち払うかのような爽快な景観に、思わず「SO GOOD (美しい) 」と叫んでしまう一幕も。

下山後は、スタッフ、地元希望者らにより交歓会が持たれたが、席上

おのおのスケッチブックを持ち、登山の印象をイラストを交え話つてもらうと、日独双方より、活発な発言がみられた。団員達の描くイ

ラストには、行程の暑さと、鳥海湖畔の涼しさを描くものが多かったが、中には山でのエピソードを漫

画仕立てで描く者もいて、終始賑やかな雰囲気会場を包んでいた。一行は、八月九日、すべての日

程、カリキュラムを消化し、スタッフ、民泊家族らの見送る中、空路にて山形を発った。

形庄内の印象を聞かれた団員の一人は、一言、「EST SHONEN」と言い残しゲートの向こうに消えていった。

ひととき、鳥海山の涼風が再びあたりを吹き抜けたような気がした。

(遊佐事務局)

■日独同時交流派遣

山形県スポーツ少年団リーグ会
吉島ハレーボールスポーツ少年団

小関ひとみ

平成十一年七月二十日~八月十日までの二十四日間、私達は日独スポーツ少年団同時交流派遣団員としてドイツに行つて来ました。

日独同時交流のテーマである「ライフスタイル2000」若者のライフスタイルに基づき「未来に向かって笑顔でつづばしりたい」と

2000「年僕らのスタート」というテーマを持って臨みました。

ドイツでの生活は日本では経験できないものばかりで毎日がとても新鮮でした。日本とは街並みから生活、そして当然ながら言葉も

異なりほとんど通じない状態でした。しかし五感のすべてを使って相手の気持ちを理解しようと接していくと、自然と解り相手にもきちんと伝わりお互いに良いコミュニケーションを取ることができました。ドイツの人々に触れ、文化

に触れ、ドイツ人のあたたかさを知りそこで得られたものはとても大きなものでした。また、私達と同年代の若者と、子供を持つ親という立場である方々と「学校」について話し合いの場を持つことができました。意見交換により日本とドイツのちがいが、両方に良い点・悪い点があり「二〇〇〇年のライフスタイル」として目指すものが少し見えた気がしました。ドイツでの経験は私の中に大きな革命をもたらし、そのことは「私の目指す指導者」への大きな一歩でもありました。そしてドイツと一緒に過ごしたホストファミリーと受け入れて下さった地域の方々や指導者の先生、通訳さん、他の派遣団員の多くの仲間達と、たくさんの人々との出会いがありました。日本人にも大切な友達がたくさんでき、本当に一生忘れられない思い出でありそれだけで終わらないよう、この関係はこれからも一生続けていきたいと思っています。

これからどうしていくのか、どう生かしていくのかここからが本当のスタートだと思っています。最後に貴重な経験の場・機会をあたえて下さったたくさんの方々に感謝しています。ありがとうございました。

広げよう

交流の輪

(第三十回東北ブロック
スポーツ少年大会)

第三十回の東北大会、併せて第三十五回の県大会と、いずれも記念の大会が、七月二十九日(木)~八月一日(日)の三泊四日の日程で、(県大会は七月三十一日(土)までの二泊三日)朝日少年自然の家を会場に開催されました。

猛暑の中でも班や組の結束は固く、みんな力を合わせて、運動会や野外炊飯・キャンプファイヤー等を通し、友情を育み、交流を深めることができました。また、大自然の中で練り広げられたブナの原生林散策や寒河江川の川下りなど、広域活動で見せた団員の笑顔と汗も大変印象的でした。



◇県スポーツ少年大会

七月二十九日(木)～三十一日(土)



開会式「みどりの朝風」を合唱

◇ジュニアリーダーズスクール

八月十七日(火)～十九日(木)



飯豊少年自然の家にて「先輩の体験談」

地域交進 流業

北村山地区ドッジボール大会
東根市スポーツ少年団

事務局 伊藤 亨

去る、十二月十九日(日)東根市民体育館において、団員相互の親睦・団員と指導者及び母集団等の相互の親睦を図ることを目的に『北村山地区ドッジボール大会』を開催しました。

当日はあいにくの大雪にもかかわらず、東根市・村山市・大石田町より二七チーム総勢五五六名と大勢参加して頂き、また指導者・母集団の方々も多数みえられ市民体育館は、スポーツ少年団の熱気に包まれました。

本大会の『ドッジボール』は、楽しく交流できるようにボールはソフトバレーボール、チームの中に母集団等が入っても良い等、独自の交わりルールで行ったところで、また、なるべく多く試合をして頂くために七ブロック毎のリーグ戦で試合を行うことにしました。試合を始める前に、講師の先生を招き全員で準備運動(ストレッチ)を行い、みんな楽しんでながら体をほぐ



団員達よりも真剣そのものでコートの中を走り回り、ボールをキャッチしては団員にボールを渡していただきました。(母集団等は、キャッチの出来ない)また、応援団の声援もあちらこちらから聞こえ大変にぎやかな大会となりました。

全体を見回してみますと、野球・バレーボールと様々なユニフォーム姿が見られ、日頃余り交流のない他種目の少年団同士や他市町の少年団とがドッジボールを通して楽しく交流している姿を見ることができ事務局として大変喜んでい

るところで、また、チーム中でも日頃の団活動とは一味違う指導者・母集団とのふれあい、交流ができたのではないかと思います。表彰式では、各ブロック二位、各試合優秀選手賞(七八名)、特別賞(一チーム)を授与し、本大会全日程を終了しました。

最後に、会場準備・審判等本大会にご協力頂いた指導者・母集団の方々から感謝申し上げますと共に、今後もスポーツ少年団活動・育成のさらなる発展に取り組みたいと思っております。

の市町動き 戸沢村社会教育課

四季折々の豊かな自然が息づく戸沢の地で、現在、四つの学区に五団体、団員一五〇人、指導者四〇人がバレーボール・野球・スキー競技に汗を流しています。どの単位団も子ども達の健全育成や体力向上に一役かっています。

村の伝統的な種目のひとつである駅伝では、昨年、中学校では男子が地区準優勝、女子が地区優勝、郡内市町村対抗駅伝では、見事優勝することができました。その原動力となる選手の基礎的な体力・能力の育成の一翼を担う活動がスポーツ少年団で行われています。

他にも、箱根駅伝を走るほどの選手を輩出するなど、スポーツ少年団活動は村のスポーツ振興にとつて重要な位置を占めています。しかしながら、各単位スポーツ少年団にもさまざまな悩みもありません。指導者の確保はもちろんですが、団員数の減少が一番の問題のようです。当村もご多分にもれず少子化が進行し、単位団の団員確保に苦慮している姿や、せっかく練習しても、ぎりぎりの団員数のために一人が怪我をすると大会に出られないということがあり、子ども達には本当にかわいそうな状況をつくってしまうことがあると感じています。

役員会のたびに、総合型地域スポーツクラブの創設を目指し、スポーツ少年団・体育協会・行政が今以上の連携を図る中で、「子ども達の体力・競技力向上を目指すためには、どのような方向性をもつていけばいいのか」を真剣に考えなければならぬ時期に来ているといえます。これからは各種スポーツ教室の開催など、スポーツ少年団員の相互の交流を図りながら、少しずつ地域のスポーツ少年団として発展していきたいと思っております。



団員の

夢



上山ドラゴンズ
野球
スポーツ少年団
荒井 祐二



長井バドミントン
スポーツ少年団
長谷川圭太



大久保野球
スポーツ少年団
瀬野 公平



ドラゴンズ
ボーイズ
スポーツ少年団
山田 勇人



鮭川スキー
スポーツ少年団
土田 佳織

みです。これからも全国で勝てるように練習したいです。日本一になるのがぼくの夢です。

ぼくは三年生の時、スポ少野球

僕が野球を始めたのは、二年生の時です。野球を始めたのは、兄が野球をしていたからです。最初はボール拾いからでした。地道に練習をつみ四年生になってからは試合にも出れるようになりました。試合に出て楽しいところは、ヒットを打ったときやフラインプレーをしたときです。でも試合では一人がいいプレーをしても試合には勝てません。野球はチームプレーなのでみんなの力を合わせて戦わないと勝つことができません。だから学校にはない楽しさがスポ少にはあります。

ぼくは、バドミントンを始めて三年になります。きっかけは、友達がバドミントンのスポ少に入っていたからです。初めて練習した時、シャトルが当たらず、空振りばかりしていました。それで、スポ少の練習は、休まず行くように決めました。試合で勝ちたかったし、みんなとの練習も楽しかったからです。上級生やコーチに相手をしてもらって、ぼくはシャトルをうまく打てるようになりまし。そして、試合でも勝てるようになりました。

に入りまし。小さい時から友達の家遊びに行き、野球をやっていたせいか、野球が大好きだったのです。入ったばかりの時は、まともに入ることができず、三年生で試合に初めて出た時は、三振でくやしい思いをしました。しかし五年生になると、キャッチャーという大役をまかされました。ピッチャーのキャプテンの球は速くて重いので、受け取るのが大変で、毎日の練習がとてもきつかったです。でも、きつい練習の成果がでて、秋の大会で優勝できました。六年生も卒業し、ぼくがキャプテンという大役をやることになりました。キャプテンになったばかりの時は、

ぼくがドラタイに入ってきたきっかけは、兄がキャッチボールをしていて、その姿がかっこよかったです。ぼくも兄みたいにになりたいと思いました。

ドラタイは、谷地中部小学校に加え、兄の時から北谷地小学校の生徒も加わり現在四十三人と大変大きくなりました。今年は、中学に進みます。ぼくは迷わず野球部に入るつもりです。ドラタイの六年生は十五人いますが、今年は強かったため、ドラタイでレギュラーを多くとれるようにがんばりたいと思います。

僕は四月から新キャプテンとして、チームをまとめて県大会上位を目指し、がんばることが僕の夢です。

今、停土君とダブルスを組んでいます。二人で作戦を考えたり、助け合っています。ぼくたちは去年は広島、今年三重で行われた全国大会に出場することができました。今年も、念願のベスト十六に入りました。でも、全国には強い選手がいっぱいいます。ぼくは、負けたくありません。強い選手と戦うのはとても楽し

昨年、キャプテンのようになれるか不安でたまりませんでした。それに、監督から「ピッチャーをしろ」といわれ、ますます自信をなくしてしまい、春の大会では、みんなをまとめることもできず、ボール

そこで、三年生の四月に入団しました。最初のころは、球拾いからやって、五年生から選手として試合に出場しました。

私は、三年生の時スキースポ少に入りました。最初の頃は、毎日の練習がきつくてつらいと思つこともありました。でも早く先輩達のように上手にならたくて、練習を休まず頑張りました。

八月に行われた県少年少女交流会西村山予選で優勝しました。忘

れられないのは、その決勝戦です。ドラタイがリードすると白岩が追いつき、抜きつ抜かれつの一戦一戦までいきました。ぼくはピッチャーで八回最後まで投げぬきました。つらかったですが、ぼくにとつてこれからの自信になりました。しかし、県大会は一回戦で負け

打ったり、取ったりしてくれ、お父さん、お母さんが、応援をしてくれただからだと思います。中学校、高校までがんばって行き、そしてプロへいけるよう練習をやつていきたいとおもいます。

私には、三年生の時スキースポ少に入りました。最初の頃は、毎日の練習がきつくてつらいと思つこともありました。でも早く先輩達のように上手にならたくて、練習を休まず頑張りました。

私には、三年生の時スキースポ少に入りました。最初の頃は、毎日の練習がきつくてつらいと思つこともありました。でも早く先輩達のように上手にならたくて、練習を休まず頑張りました。

ある時、コーチから「大会さ、出てみねが。」と言われて、初めて大会に出ました。そのときはとても緊張して、ゴールするのが精一杯でした。でも一回出てみたら、気持ちが楽になりました。もう一回出たくなりました。それからずっと大会に出ました。

五年生の時、強化選手に選ばれました。合同練習や合宿があつて、他の学校の選手とたくさん友達になりました。大会などで顔を合わせると、声をかけられるようになってとても嬉しいです。

スキーを始めてから、ずっと治らなかつた鼻炎が良くなり、風邪もひかなくなつて身体が丈夫になりました。ご飯もたくさん食べられるようになりました。

六年生なつて、あと三カ月で卒業です。私は中学生になつてもずっとスキーを続けたいと思います。そして、もつともつとたくさん人と友達になりたいです。今シーズンもガンバルゾ!!



余目卓球スポーツ少年団
佐藤 大

ぼくが、卓球スポーツ少年団に入ったのは二年生のころです。お父さんがコーチをしていたので、

よく、お父さんが練習に連れていってくれました。そこで、五年生、六年生、中学生、地域の人たちが練習していたのを見て、ぼくもやってみたいと思いました。そして、初めての練習の時、みんな知らない人ばかりだったので、仲良くしてくれるか、友達はできるかなどと

思っていました。みんな、ぼくをやさしくむかえ入れてくれて、今となつては、六年生男子の団体戦チームは、数々の試合でも優勝するような強い、仲の良い、すばらしいチームになりました。そして、ぼく自身も、この前の試合では、選手宣誓をまかされて、競技でも団体戦では第一位、個人戦は第二位という良い結果に終わることができました。最後に、ぼくの夢は、一緒に団体戦を組んできたメンバーと

中学校でも卓球を続けていきたいということ。そして、今まで以上に、一緒に遊んだりして友達づかりを深めていきたいです。



榊引空手道スポーツ少年団
佐藤 郁恵

私は小学校三年生から、空手スポーツ少年団に入団しています。それから、三年間空手を続けて茶

帯の一級になりました。私の目標は黒帯になることです。

最初は、なんとなく、おもしろそうだなあという気持ちで入団しました。それが今では、毎週一回の練習がまちどおしいです。最初は、榊引の空手スポ少は、人数が少なかったし、私達が入つたころ

は、女子は、だれもいませんでした。でも私達が入つたら、女子もいっぱい入ってきたし、今では、空手に入っている人全員で、約四十人にもなりました。前に大会に出て、私は、組み手の部で準優勝しました。でも、前に出た、県大会では、強い人がたくさんいました。組み手は、いくら練習して、強い技をおぼえても、それが、本当の試合でちゃんとかえるか、

やつても一本も入らなかつたりということがけっこうあります。私の目標は、黒帯になつて強くなることです。そのために、練習だけでなくいろんな大会に出たいです。あと、この空手スポ少を中学校に行つても続けていこうと思いま

す。黒帯になるまでまだまだだけれどこれからはがんばりたいです。



若わしスポーツ少年団
土屋 遙

わたしは、四年生の時に、バレーがじょうずになりました。スポ少を始めました。始めは、ボールひろいでした。次に基本をやり、五年生の時に『キャプテン』になりました。

一番声を出したり、チームをまとめたり、自分なりに努力してきました。わたしは今、中学へ向けての練習をしています。今まではセッターでしたが、サーブやポジジョンをかえて中学校へ行つて役にたつようにがんばっています。わたしは、中学校へ行つたらスポ少でやつてきたことをもとに、先ばいやかんとくいろいろな教えてもらい、一年生でレギュラーになれるようにがんばります。そして、県大会に行つて、絶対優勝をしたいと思つています。高校へ行つてもバレーを続けて、プロまではならなくていいけど、いろいろな大会に出、行く所まで行つてプロくらいじょうずになつて全国いろいろな所へ行つてみたいです。いつまでもバレーを続けていきたいと思つています。



少年レスリングクラブスポーツ少年団
坂下 英

ぼくは、レスリングをはじめようとして自分から進んでやつたのはありません。ただ単に、お兄ちゃんがやつていたので入りました。

まず、初めに、レスリングというスポーツを知り、練習を積み重ねてきました。基本のことを何千回何万回とやつてきました。でも先生たちは、「それでも試合には勝てないぞ。」と、言つて厳しい練習が続きました。息が切れ、友達と話すよゆうもなかつたほど、練習をしました。やがて、東北大会で優勝することができました。

六年になつて、重大な責任のあるキャプテンになりました。みんなをまとめ、支え合つてきました。全国大会では、今までの力をすべて出そうと思つた最後の試合にのぞみました。試合が終わり負けたかなと思つたが、六対四で僕は勝ちました。とてもうれしかったです。

この全国大会をバネにして今後もし一歩けんめいに、がんばろうと思つきました。全国大会でもらつたあの立派な賞状とメダルは、僕の宝物です。



団紹介

鶴岡市

○大山剣道スポーツ少年団

代表指導者 鈴木 実

大山剣道スポーツは、昭和四十七年創設。

大山スポーツ少年団七団の中の一団として二十数年活動しています。当スポーツは剣道の理念の「剣道は剣の理法の習練による人間形成の道である」この目標に向かって基本を大事に稽古しています。

四月の入団式から夏の合宿までは大会には出場しません。合宿以降八月からの大会に出場しています。合宿は中学校と一緒に行っていきます。その他、一月の鏡開き、三月のお別れ会、と育成会の父母の方の御協力を戴きながら活動しています。近年の団員数は、二十数名で推移していますが女子が圧倒的に多く男子が少ない状況です。稽古日は火曜と



○大塚地区スポーツ少年団

代表指導者 菅 井 新一

大塚小学校の三年生から六年生までを対象とし、男子は野球・柔道、女子はソフトボール・バレーボールの計四種目に、現在九十四名の団員と三十名の指導者で練習に励んでいます。

大塚地区のスポーツ少年団としての歴史は古く、旧ヤングスポーツ少年団が昭和四十二年に結成されその後、大塚地区柔道としてソフトボールスポーツ少年団が昭和五十年に再結成されました。現在のような複合スポーツ少年団として結成されたのは、平成五年度からです。

団の活動ですが、通常は各種目毎に週一〜二回の練習を行い、各種大会等へ参加しています。全体の活動としては、年度始めの結団式・宿泊交流会・鏡開き・スキー交流会・年度末の六年生を送る会等を開催し、団全体の結束をはかっています。本団の特徴としては、大塚地区

木曜の週二回です。また、第二土曜、第四土曜に行われている「剣道交流広場」にも上級者を中心に参加しています。指導者は現在五名ですが仕事の都合等で常時指導できるのは二〜三名で指導者不足も悩みですが子供達の健全育成の為に携わっていききたいと思えます。

川西町

○天童市

代表指導者 三宅 邦雄

天童北部小ミニバスケットボール

天童北部小ミニバスケットボールスポーツ少年団は、天童北部小学校創立と同時に昭和五十七年に発足し、今年で十八年目を迎えました。

現在の団員は男子十九名、女子十三名です。練習は週二回ですが、みんなで上の大会を目指し、がんばっております。お陰様で、今年度は男子が東北大会の出場を果たす事が出来ました。過去にも、東北

大会や三県対抗出場等の立派な成果をあげてきました。少ない練習で精一杯の運動をし、チームワークと技術向上に努めております。団員には、明るく、楽しく、元気よくチームの合い言葉に、指導者、保護者と共に一丸となって協力し合い、団活動を行っております。ゲームの勝ち負けだけでなく、他のチームとの友達を作る事も、大切な事と考えております。指導者としては、中学校、高等学校に進んでも、バスケットを愛し、たくましく育ってほしいと願っております。



○飯豊町

代表指導者 伊藤 敏英

西部バレーボールスポーツ少年団

西部バレーボールスポーツ少年団は、飯豊町立手ノ子小学校の児童を対象に、昭和五十四年に結成され、二十一年目を迎えました。

現在、団員は三年生から六年生の女子二二名、指導者六名で活動しております。活動内容は、週二回、土曜日の午後と日曜日の午前の各二時間の練習と各種大会への参加、白川ダムマラソン大会への参加、クリスマスパーティー、もちの会（六年生を送る会）等々、バレーボールだけにとられない幅広い活動を行っております。

各種大会では、特に目立った活躍は少ないですが、スポーツを通して、バレーボールの楽しさや勝つことの喜び、チームワークの大切



さ等を少しでも肌で感じてくれればと思いい指導している所です。二十年間活動していると、スポーツに入っていた子ども達も、社会人となり、最近では三名が指導者として関わりを持つてくれる様になりました。現在の団員達も、将来は中学校、高校と続けて欲しいし、そしていずれば指導者として帰ってくるのを楽しみにしております。



○大石田町

代表指導者 仁藤 健一

大石田JSC

本団は、昭和六十二年「下宿スポーツ少年団」として発足し、翌年「横山スポーツ少年団」と改名、学校を主体としない地区のスポーツ少年団として、父母の会が一丸となり団員達と歩んで来ました。

平成十一年には、町名である「大石田JSC（ジェイエスシー）」と改名、さらなる発展を遂げ、今日に至っております。活動内容は、四月から十月迄は、陸上競技を主体とし、各大会への参加の他、花見会、奉仕活動、キャンプ、芋煮会などの事業を行っております。十一月から翌年三月迄は、クロス

活動内容は、週二回、土曜日の午後と日曜日の午前の各二時間の練習と各種大会への参加、白川ダムマラソン大会への参加、クリスマスパーティー、もちの会（六年生を送る会）等々、バレーボールだけにとられない幅広い活動を行っております。



カントリースキーを活動の中心としてい
ます。昨年も
大会において、
個人優勝、リ
レー入賞者を
出すなど、団
員達も充実し
ているよう
です。事業の方
では、強化合
宿、卒業生を
送るポーリング大会などを、行っ
ております。

最後に、本団の主旨としては、
各種大会で、勝つ為でなく、あく
までも各個人の目標達成と、体力、
精神力、マナー、友達作りをモツ
トーに、日々練習に励んでいます。
これからも団員達と一緒に、いろ
んな事に、チャレンジして行きた
いと思います。

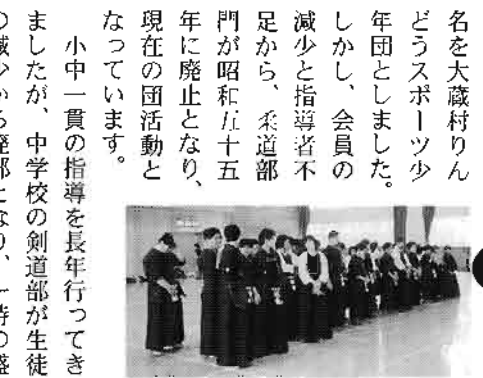
大蔵村

◎結成二十五を迎えて
大蔵村りんどうスポーツ少年団◎

代表指導者 滝 沢 恒 彦

私たちりんどうスポーツ少年団
は、昭和五十年に武道を通じて地
域の青少年の健全育成、会員相互
の親睦を深めることを目的とし、
「大蔵村柔剣道錬成会」として発足
しました。

現在、小学生三〇名、中学生二二
名で活動しています。発足後ス
ポーツ少年団に加入登録し、加入



名を大蔵村りん
どうスポーツ少
年団としました。
しかし、会員の
減少と指導者不
足から、柔道部
門が昭和五十五
年に廃止となり、
現在の団活動と
なっています。

小中一貫の指導を長年行ってきた
ましたが、中学校の剣道部が生徒
の減少から廃部となり、一時の盛
況が陰を潜めることとなりました。
しかし平成四年に剣友会会員及び
保護者会の熱心な要望から、十年
ぶりに中学校の剣道部が復活しま
した。これまでの入会者は三百名
を数え高校、大学と活躍した選手
を輩出してあります。

平成九年には、結成二十周年の
記念大会を盛会に開催したところ
です。

今後剣道から得られるものの
大切さ、団活動の楽しさを大事に
活動していきたいと思ひます。

酒田市

◎泉野球スポーツ少年団◎

代表指導者 佐 藤 勝

本団は五十五年四月に開校しま
した泉小学校の三年生から六年生
までの子達を対象に活動を行って
います。今年で二十周年を迎え、
現在二五名の団員と六名の指導者
で、シーズン中は週四日オフには

週二日を活動日としています。
結団式は四月二週目、解団式は
三月一週目の日曜日に決まってい
ます。泉スポーツ少年団行事とし
て取り組んでいます。

運営事業内容としては、ただ野
球の練習と試合だけでなくスポー
ツテストや奉仕活動、親子レク、
宿泊体験、思い出作り等々母集団
の協力のもとに実施をしています。
子供達には色々の体験をさせる事
によって喜びを分かちあっている
と思ひますし、その中から仲間意
識としてチームワークが育ち、健
全な心と身体が養われてくると考
えます。学校週五日制も目前に
迫っています。これからは益々地
域に於けるスポー
ツ少年団の果たす
べき役割、子供達
の遊び場として大
切になってくると
考えます。

今でもガキ大将
の気持で多くのガ
キ大将を育ててい
くつもりです。



河北町

◎河北ドラゴンタイガース◎

代表指導者 柏 屋 年 夫

昭和五十三年、野球狂の小学六
年の息子達にせがまれ、河北ドラ
ゴンが結成されて二十数年、活き
活きとした子供達を見るにつけ引
き込まれた親たちは多い。



十周年
記念事業
でプロ野
球選手田
淵幸一を
迎えた時
は町中が
涌いた。
平成五
年学区単
位チーム
から総合
チームへ
切り換えたその年、友好都市を結
んだ徳島県藍住町へ出向き一役を
果たし、その後三年ごとの交流試
合は続く。

平成十年徳島県より十数人の子
供達を迎えた記憶は新しい。
同じ名前の町民同士の交流大会
宮城県河北町のラブコールにも応
えた。

数多くのスポーツ少年団の交流
試合や、町の行事紅花河北音頭パ
レードには、毎年ユニホーム姿で
参加し華を添えている。

団結式二十周年記念行事ロング
ラン野球は雨のため十八時間で終
了したのは残念だったが、バーベ
キューやいも煮を囲み子供達が学
区毎に自慢の芸能、豆奴、豊年太
鼓、大黒舞の披露で盛り上げた。

現在団員四五名、団結はかたい。

中山町
◎中山ニミバスケットボール・
スポーツ少年団◎

コーチ 太 田 孝 一

中山ミニバスケットボールス
ポーツ少年団は、中山町立長崎小
学校、豊田小学校の三年生から六
年生迄を対象にして、昭和五十五
年に結成し今年度で二十年を迎え
ます。

この二十年のなかで男女合わせ
て全国大会三回、東北大会二回、
冬の東北大会十回出場の成果を残
しています。

現在団員は、男女合わせて三八
名指導員八名で活動しています。
団員、父母の会、指導員が三者が
一体の活動をし成果をあげていま
す。また、練習は週四回を原則と
し毎回の練習に励んでいます。

春には「ひまわり杯バスケット
ボール大会、秋には中山、山辺、金
井地区で開催する「さわやかアツ
プル杯バスケットボール大会」等
様々な活動
を行って
います。

スポーツ
が大好きな
子供達の心
身育成と成
長を願ひこ
れからも頑
張りたく
思ひます。





育成母集団のあるべき姿

西置賜教育事務所

社会体育主事 大滝新一

一 はじめに

人は遊ぶ動物といわれています。スポーツはその語源「deissport」より身体活動をともなつた遊びです。遊びには三つの要素があります。

一つめは「まねる」ことです。〇〇ごっこというように、まねてさまざまな知恵と技術を身につけることができます。

二つめは、「許容すること」です。既に存在する遊びのルールを受け入れて、仲間と共同して遊んだり集団に帰属したりします。

三つめは、「創造すること」です。身近にあるさまざまなものを道具として工夫して使い、楽しい遊びを創り出す力が養われます。

スポーツは頭脳と身体と道具を使い、ルールを守ったり創ったりしながら競走して遊ぶ文化ということができません。

「スポーツ少年団」は、一人でも多くの子どもたちにスポーツの楽

しさと喜びを与え、スポーツをおして子どもたちのからだど心を育てる組織を地域の中につくっていくという考えから生まれたものです。

二 育成母集団とは

単位スポーツ少年団が、社会的に実態のある団体として認められるためには、次の三つの条件が必要になります。それは、①メンバーシップ制がきちつと整えられていること、②役割の分担が行われ組織的に運営されていること、③会議、会計、活動等についての規約があり、それによって公正な運営がなされていることです。

団の運営や活動は、基本的には自主・自立の精神をもって団員と指導者たちで進めることで成長していくことをめざしています。しかし、団の組織づくりや運営、活動のしかたや場所の確保、指導者や活動資金集めなど、困難なことがたくさんあります。このような

とき「スポーツ少年団」を側面から支援する大人の有志によるサポータークラブが育成母集団です。母集団の主役は、まず団員の親ですが、スポーツ少年団が地域に認められるためには、さらにひろく地域住民の参加を求めることが重要です。そして、団活動を支援するだけでなく、自らスポーツや文化的な活動を楽しむ地域の生涯にわたるスポーツクラブとして活動をしします。

スポーツ少年団の登録状況から見ると、約八〇%以上の団に育成母集団が結成され、熱心な活動をしているようです。しかし、金銭的な支援だけとか、行事のお手伝いだけになってしまい「不満クラブ」のような声も多く聞かれます。スポーツ少年団では、生涯にわたるスポーツを楽しむ地域クラブをめざして活動をし、そのための貴重な存在として「育成母集団」を位置付けているのです。

三 育成母集団の役割

育成母集団の役割として、つぎの三点をあげることができます。
(1) スポーツ少年団に対する支援・協力活動
① 少年少女たちの自主的な活動を促し、団活動が活性化されるよ

うな財政的な面での支援活動
② 合宿や交流活動で、指導者だけでなく十分な安全を確保できないようなときの協力活動
(例)・合宿練習やキャンプなどへの引率や生活指導の協力

③ 指導者・リーダーの発掘と養成研修への支援

(例)・団指導者の人材発掘・活用と感謝の意を表す活動

(2) スポーツ少年団活動への理解を広め加入を促進する活動

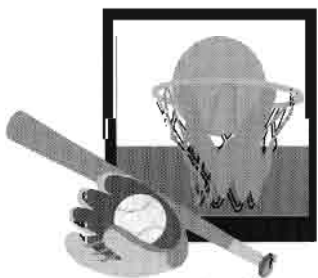
① スポーツ少年団活動への理解を広めるための活動
(例)・町内会やPTAなど各種団体への理解を広める活動・団の広報活動(団新聞)への協力

② スポーツ少年団員募集への協力活動
(例)・団員募集のポスター、チラシ配布等の協力

(3) 育成母集団自身のスポーツや文化的な活動
① 育成母集団のスポーツや文化的な活動の充実による、生涯学習社会の拡充
(例)・育成母集団の親睦スポーツ交流の企画・実施・育成母集団のため

の趣味・文化活動の企画・実施・育成母集団による地域活性化活動や美化活動
② 育成母集団と指導者との合同研修や親睦活動
③ スポーツ少年団員との合同活動
(例)・体力テスト会の合同実施・新団員歓迎会や進級祝い会の合同実施などです。

また、同じような活動をしている、他の育成母集団との話し合いや交流の機会をつくり、お互いよいところを学ぶことも大切なことです。すでに市、町レベルで「育成母集団連絡協議会」を結成し、より積極的な活動を展開しているところもあります。



県の動き

表彰

文部省体育功労者表彰

安齋英助(山形市)

日本スポーツ少年団顕彰受賞者(団)

感謝状

菊地茂男(川西町)

◆表彰市町村スポーツ少年団

平田町

◆表彰指導者

米野稔(長井市)・門間延行(南陽市)・前田生也(八幡町)

山形県スポーツ少年団表彰受賞者(団)

◆功労者

押野日出男(山形市)・原田旺雄(山形市)・石山忠(寒河江市)・軽部正之(大江町)・植松弥内(東根市)・菅好輝(米沢市)・高貫潤一郎(飯豊町)・筒井昭治(松山町)・渡部繁美(酒田市)・八幡喜代志(鶴岡市)

◆優良団

月岡アローズ野球スポーツ少年団(上市市)・荒谷柔道教室スポーツ少年団(天童市)・山二小ふじかけ野球スポーツ少年団(山形市)・河北町谷地南部地区卓球スポーツ少年団(河北町)・西郷剣道スポーツ少年団(村山市)・米沢体操スポーツ少年団(米沢市)・白鷹町空手道スポーツ少年団(白鷹町)・菁莪剣道スポーツ少年団(余目町)・栄サツカースポーツ少年団(鶴岡市)・黄金剣道スポーツ少年団(鶴岡市)

◆各級スポーツ少年団資格取得者

◆少年スポーツ上級指導員
奥山敏夫(河北町)

平成11年度

山形県スポーツ少年団登録状況

平成12年1月31日現在

単位団体(団)	更新			新規			計			指導者			計
	更新	新規	計	男	女	計	男		女		計		
							更新	新規	計	更新		新規	
総数	973	31	1,004	16,333	8,823	25,156	4,217	791	5,008	372	105	477	5,485
東前山支部	250	8	258	3,839	1,720	5,559	833	190	1,023	83	28	111	1,134
山形市	156	6	162	2,422	1,048	3,470	499	125	624	48	21	69	693
上市市	24	1	25	373	239	612	84	9	93	13	1	14	107
天童市	48	1	49	708	345	1,053	143	41	184	15	5	20	204
山辺町	16	0	16	190	128	318	60	8	68	5	0	5	73
中山町	6	0	6	146	60	206	47	7	54	2	1	3	57
西村山支部	73	4	77	1,343	584	1,927	289	67	356	13	6	19	375
寒河江市	28	1	29	599	195	794	120	34	154	4	3	7	161
河北町	19	0	19	345	195	540	90	14	104	4	2	6	110
西川町	5	2	7	98	55	153	18	2	20	2	0	2	22
朝日町	12	0	12	176	95	271	35	6	41	2	1	3	44
大江町	9	1	10	127	44	171	26	11	37	1	0	1	38
北村山支部	101	4	105	1,866	895	2,761	469	112	581	26	10	36	617
村山市	26	2	28	548	189	737	130	27	157	7	2	9	166
東根市	38	1	39	655	304	959	107	42	149	8	4	12	161
尾花沢市	29	0	29	508	332	840	189	34	223	8	2	10	233
大石田町	8	1	9	155	70	225	43	9	52	3	2	5	57
最上支部	84	3	87	1,518	1,051	2,569	479	136	615	31	19	50	665
新庄市	30	1	31	531	327	858	114	48	162	10	4	14	176
金山町	7	0	7	203	145	348	88	21	109	2	4	6	115
最上町	15	0	15	225	148	373	79	24	103	6	0	6	109
舟形町	4	0	4	123	114	237	66	9	75	6	1	7	82
真室川町	10	1	11	187	99	286	49	12	61	3	0	3	64
大蔵町	4	0	4	54	68	122	16	2	18	0	0	0	18
鱒川村	9	1	10	117	82	199	38	13	51	2	8	10	61
戸沢村	5	0	5	78	68	146	29	7	36	2	2	4	40
東前山支部	103	2	105	1,878	1,030	2,908	566	54	620	70	9	79	699
米沢市	49	0	49	838	411	1,249	225	23	248	35	6	35	283
南陽市	26	0	26	428	249	677	129	17	146	14	4	18	164
高島町	14	0	14	324	171	495	103	11	114	8	5	13	127
川西町	14	2	16	288	199	487	109	3	112	13	0	13	125
西置賜支部	79	2	81	1,314	731	2,045	404	49	453	40	12	52	505
長井市	25	1	26	478	246	724	115	17	132	16	5	21	153
小国町	11	0	11	170	92	262	74	5	79	6	4	10	89
白鷹町	29	1	30	512	285	797	175	20	195	14	1	15	210
飯豊町	14	0	14	154	108	262	40	7	47	4	2	6	53
庄内支部	283	8	291	4,575	2,812	7,387	1,170	183	1,360	109	21	130	1,490
鶴岡市	86	3	89	1,330	767	2,097	304	61	365	26	7	33	398
立川町	9	0	9	118	80	198	33	4	37	4	0	4	41
余目町	17	1	18	248	129	377	48	9	57	5	0	5	62
藤島町	9	0	9	159	91	250	39	1	40	2	0	2	42
羽黒町	12	0	12	172	110	282	46	12	58	3	0	3	61
朝日村	9	0	9	196	127	323	61	7	68	5	0	5	73
櫛引町	15	0	15	248	145	393	56	12	68	15	1	16	84
三川町	12	0	12	148	93	241	57	4	61	3	3	6	67
温海町	5	3	8	123	101	224	25	5	30	2	0	2	32
酒田市	69	0	69	1,248	768	2,016	345	45	390	34	9	43	433
遊佐町	18	1	19	211	154	365	55	8	63	5	0	5	68
八幡町	9	0	9	138	96	234	31	7	38	0	1	1	39
松山町	10	0	10	131	90	221	47	7	54	2	0	2	56
平田町	3	0	3	105	61	166	30	1	31	3	0	3	34

◆認定育成員(少年スポーツ指導員) 本年度は受講希望者がありませんでした。認定育成員は現在約六〇名いますが、一市町村に最低一名が配置されるようにならなければなりません。まだ認定育成員のいない市町村もありますので、来年度は是非受講してください。

◆認定員 十一年度は三百七十五名が受講修了、内百五十五名認定、百七十四名が十一年度未登録のため保留。

(★認定員資格は十二年度未登録の場合、資格が消失しますのでご注意ください。)

《シニア・リーダーズスクール》
前期 八月十一〜十四日 秋田県

後期 三月二十六〜二十八日 東京都 三瓶由美子(真室川町)・細谷章寛(川西町)・荒井大輔(同)・佐藤真人(同)・松田幸志(長井市)・井上こずえ(同)

《シニア・リーダーズスクール》
八月十七〜十九日 飯豊少年自然の家にて、三〇名をシニア・リーダーに認定。

《全国スポーツ少年大会》
七月二十八日〜八月一日 長野県 指導者・井上道雄(長井市)・団員・梅津優一(白鷹町)・鈴木真理亜(長井市)・高橋篤史(川西町)・佐藤由実子(同)・吉田麻里(同)・嶋貫芳(同)・池田清海(同)・高橋美帆(鶴岡市)・斎藤梢(同)・加藤宏一(尾花

沢市)・菅野伸(同)・斎藤梓(同)・阿部智子(同)

《東北ブロックスポーツ少年大会》
七月二十九日〜八月一日 山形県 「朝日少年自然の家」 指導者・安達正一(寒河江市)・団員・菊地薫(白鷹町)・山田真由美(同)・荒井優花(同)・青木彩(長井市)・平香織(同)・丸山朋子(同)・坂野翼(川西町)・高橋祐樹(同)・江口慶(同)・猪狩朋花(同)・平江里子(同)・高橋あや(同)・今野優子(同)・高橋望(同)・高橋杏美(同)・菅野洋(尾花沢市)・菅野利康(同)・阿部宣幸(同)・渡部雅也(鶴岡市)・神林紗綾(同)・小野田聡美(同)・渋谷智之(同)・飯野洋平(同)・五十嵐亜希子

(同)・永澤雅海(同)・佐藤真(寒河江市)・青山龍平(同)・佐藤洋志(同)・荒井誠(同)・大沼匡(同)・遠藤薫(同)・渡辺良輔(朝日町)・菅井幸治(同)・佐藤慶子(同)

《全国スポーツ少年団SHIPS交流大会》
八月四日〜六日 宮城県 指導者・貝沼強・団員・板垣芳・横野翔太郎・小野莉加・高橋敦文・中田裕子・佐藤悠(以上川西町)

《山形県スポーツ少年大会》
七月二十九〜三十一日 朝日少年自然の家にて東北大会と同時開催。《指導者全国研究大会》 東京都 山形県より十八名の指導者が参加。

平成12年度 山形県スポーツ少年団事業計画

	事業名	期日	会場
種目別交流大会関係	● 県少年少女スポーツ交流大会	10月1日(日)	県総合運動公園他
	● 第6回全国スポーツ少年団SHIPS交流大会 ● 全国スポーツ少年団競技別交流大会 ・サッカー(第24回) ・ホッケー(第22回) ・軟式野球(第22回) ・卓球(第23回) ・剣道(第23回)	8月6日(日)～8月8日(火) 7月31日(月)～8月5日(土) 8月4日(金)～8月6日(日) 8月11日(金)～8月14日(月) 3月29日(木)～3月31日(土) 3月28日(水)～3月30日(金)	佐賀県・佐賀県総合運動場 東京都・読売サッカー場 岩手県・岩手町ホッケー場 鳥取県・布施総合運動公園他 徳島県・鳴門運動公園他 宮崎県・宮崎県総合武道館
	● 東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ・軟式野球 ・サッカー ・柔道 ・ミニバスケットボール	7月8日(土) 7月27日(木)～7月30日(日) 11月25日(土)～11月26日(日) 3月28日(水)～3月30日(金)	福島県・いわき市小名浜 山形県・山形県総合運動公園 福島県・福島市武道館 青森県・青森市民体育館 他
研修関係	● 認定員養成講習会(8コース開催) ・庄内(飽海)会場 ・西村山会場 ・西蔵原会場 ・庄内(田川)会場 ・最上会場 ・北村山会場 ・東南村山会場 ・東南蔵賜会場	8月26日(土)～8月27日(日) 9月9日(土)～9月10日(日) 10月28日(土)～10月29日(日) 11月11日(土)～11月12日(日) 11月11日(土)～11月12日(日) 11月25日(土)～11月26日(日) 12月2日(土)～12月3日(日) 12月2日(土)～12月3日(日) 11月12日(日)	酒田市武道館 朝日町民体育館 他 飯豊町民総合センター あ～す 金峰少年自然の家 最上合同庁舎・新庄市体育館 村山市民体育館 山形市江南公民館 (米沢市) 金峰少年自然の家 庄内支部「金峰少年自然の家」 山形県スポーツ会館 東南蔵賜支部 西村山支部/西蔵賜支部
	● 体力テスト判定員講習会 ● ジュニアリーダースクール ● 市町村スポ少・スポ安研修会県指導者研修会 ● 育成母集団研修会 ● リーダー会研修会	8月16日(水)～8月18日(金) 3月2日(金) 3月3日(土)	庄内支部「金峰少年自然の家」 山形県スポーツ会館 東南蔵賜支部 西村山支部/西蔵賜支部
	● シニアリーダースクール(前期)(後期) ● 認定育成員研修会(北海道・東北地区会場)(関東会場) ● 認定育成員養成講習会(前期)(後期) ● 少年スポーツ上級指導員養成講習会(共通科目)(専門科目) ● 全国リーダー研究大会 ● 指導者全国研究大会	8月11日(金)～8月14日(月) 3月25日(日)～3月27日(火) 9月30日(土)～10月1日(日) 10月20日(金)～10月21日(土) 10月21日(土)～10月23日(月) 11月24日(金)～11月26日(日) 都道府県B級講習会 or スポーツプログラマー1種(東京) 1月16日(火)～1月21日(日) 7月30日(日)～8月1日(火) 6月25日(日)	田沢湖スポーツセンター(秋田) 国立中央青年の家(静岡) 北海道スポーツセンター(北海道) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 東京プリンスホテル(東京)
交流関係	● 第36回山形県スポーツ少年大会 ● 地域交流促進事業	8月1日(火)～8月3日	西蔵賜支部「飯豊少年自然の家」 庄内支部/東南村山支部
	● 第31回東北ブロックスポーツ少年大会 ● 第38回全国スポーツ少年大会 ● 第4回北海道東北ブロックリーダー交流会 ● 第27回日独スポーツ少年団同時交流(派遣)(受入) ● 日独青少年指導者セミナー(派遣) ● 日独スポーツ少年団指導者交流(受入) ● 日中青少年スポーツ交流指導者交流(受入)団員交流(受入)	7月28日(金)～7月31日(月) 7月27日(木)～7月31日(月) 7月20日(木)～8月12日(土) 7月23日(日)～7月29日(土) 9月17日(日)～10月7日(土) 10月 下旬～11月 初旬 10月8日(日)～10月17日(火) 8月	青森県「岩木青少年スポーツセンター」 福島県「国立磐梯青年の家」 宮城県 ドイツ各地 東南村山支部 ドイツ各地 大阪府・京都府・滋賀県 千葉県・群馬県 日本各地
	● 県スポーツ少年団協議会 ● 県スポーツ少年団本部委員会 ● 県スポーツ少年団専門委員会(企画・普及・活動・指導育成) ● 県スポーツ少年団指導者協議会理事会 (・県スポーツ少年団指導者協議会専門部総会/幹事会) ● 県スポーツ少年団表彰、日本スポーツ少年団表彰伝達式 ● 県スポーツ少年団リーダー会総会/運営委員会	5月12日(金)／2月下旬 5月12日(金)／2月下旬 5月24日(水)／11月2日(木) (3月3日(土)／6月) 3月2日(金) 3月下旬	山形県スポーツ会館 山形県スポーツ会館 山形県スポーツ会館 山形県スポーツ会館 (東南蔵賜 他) 山形県スポーツ会館
会議関係	● 東北6県体育関係者会議 ● 全国指導者協議会 ● 日本スポーツ少年団委員会総会 ● 全国都道府県事務担当者会議 ● 東北ブロック指導者研究協議会 ● 北海道東北ブロック会議	5月15日(月)～5月16日(火) 6月23日(金)～6月24日(土) 6月14日(水)／3月14日(水) 6月14日(水)～6月15日(木) 11月上旬 2月15日(木)～2月16日(金)	ホテルメトロポリタン盛岡(岩手) 岸記念体育会館(東京) 岸記念体育会館(東京) 岸記念体育会館(東京) (岩手) (北海道)

スポーツ安全保険(傷害保険・賠償責任保険・共済見舞金)

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等に最適な保険です。

※5人以上のグループで御加入ください。

加入区分	掛金	傷害保険(保険金額)				賠償責任保険(補償限度額)	共済見舞金
		死亡	後遺障害	入院	通院		
A 子供のスポーツ活動等成人の文化活動、ボランティア活動、地域活動	450円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	1人 1億円 1事故 5億円 (免責1,000円) 財物賠償 500万円 (免責1,000円)	突然死 140万円
B 老人のスポーツ活動	800円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		
C 成人のスポーツ活動	1,400円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
D 山岳登山等	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

◆対象となる事故 ○グループ活動中の事故 ○往復途中の事故 ◆保険期間 平成12年4月1日から翌年3月31日まで(申込受付は3月から)